

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式	
信託期間とクローズド期間	原則として無期限（クローズド期間はありませぬ）	
運 用 方 針	ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド (ベビーファンド)	ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド (ベビーファンド)	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（毎年10月27日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。経費控除後の配当等収益（繰越分及びマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額とします。委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第15期

（決算日 2020年10月27日）

ソフトバンク & SBIグループ 株式ファンド

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ソフトバンク & SBIグループ株式ファンド」は、2020年10月27日に第15期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
11期(2016年10月27日)	10,942	0	△ 10.8	98.2	1,014
12期(2017年10月27日)	15,316	0	40.0	95.1	1,351
13期(2018年10月29日)	12,735	0	△ 16.9	96.0	1,240
14期(2019年10月28日)	12,820	0	0.7	96.0	1,208
15期(2020年10月27日)	18,062	0	40.9	97.7	1,042

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式(以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。)に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2019年10月28日	12,820	—	96.0
10月末	13,084	2.1	97.4
11月末	13,469	5.1	98.3
12月末	14,418	12.5	98.3
2020年1月末	14,170	10.5	98.1
2月末	13,779	7.5	98.5
3月末	12,181	△ 5.0	97.2
4月末	14,058	9.7	96.0
5月末	14,307	11.6	95.1
6月末	15,698	22.4	98.1
7月末	17,146	33.7	98.3
8月末	18,111	41.3	98.9
9月末	17,524	36.7	95.0
(期末) 2020年10月27日	18,062	40.9	97.7

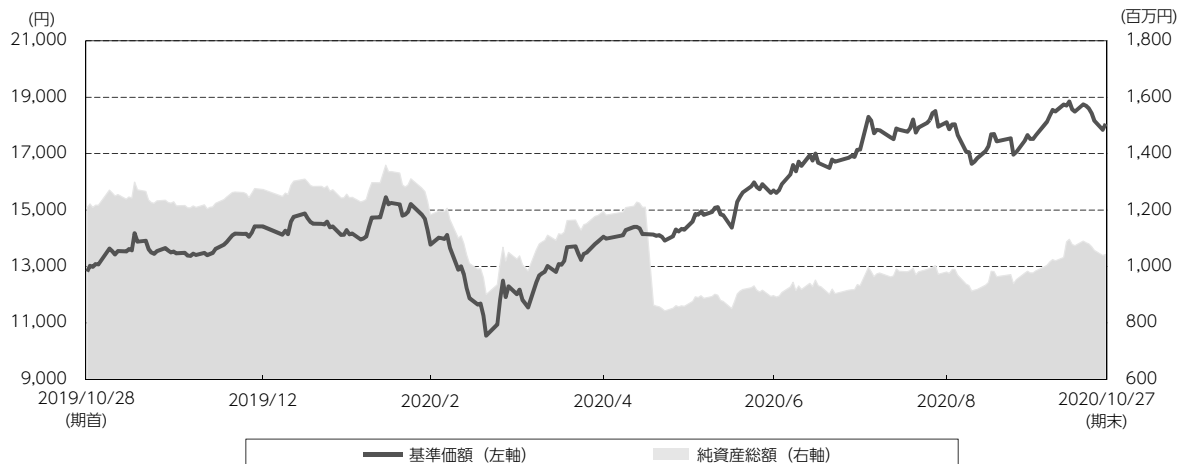
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2019年10月29日から2020年10月27日まで）

○基準価額等の推移



期首：12,820円

期末：18,062円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：40.9%（分配金再投資ベース）

（注1）当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、期初12,820円でスタートしたあと、情報・通信セクターが堅調に推移したことから、当ファンドも上昇基調となりました。期の中旬に、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて株価が急落すると当ファンドも急落し、2020年3月19日に期中最安値となる10,553円をつけました。しかし、相場の反転と共に上昇に転じると、グロース株優位の相場展開が続くなか、当ファンドの組入銘柄も堅調に推移し、期の後半にかけて大きく上昇しました。10月14日に期中最高値となる18,850円を付けると、期末にかけやや調整したものの18,062円で期末を迎えました。

個別銘柄では、ソフトバンクグループやZホールディングスの上昇が大きく寄与しました。ソフトバンクグループは、ソフトバンク・ビジョン・ファンドの評価損懸念などから3月に株価が急落したものの、資産売却による財務改善や株主還元の充実を発表後に反発し、期の後半は東証株価指数（TOPIX）や情報・通信セクターをアウトパフォームする推移となりました。Zホールディングスもコロナ禍の3月に株価が急落しましたが、その後はポストコロナの環境下で、Eコマースなどの同社サービスへの成長期待が高まり後半にかけ上昇基調を維持しました。一方、ソフトバンクの下落がマイナス寄与となりました。安倍首相の後任総裁が値下げ圧力となる菅氏になるとの思惑から8月下旬に下落して以降、冴えない展開が続きました。

○投資環境

当期の国内株式市場は、中旬に大きく下落し、その後反発しました。

期の前半は、強い米経済指標や円安を受け堅調なスタートを切りました。12月中旬には英国総選挙での与党勝利や米中貿易協議での「第1段階」合意観測を受け急伸し、日経平均株価は一時2万4千円台を付けました。年明け後に地政学リスクへの警戒感から国内株式市場が下落する局面もありましたが、2月中旬までは高値圏での推移が続きました。

期中旬は、中国武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界的な株価急落が起きました。新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないなか米欧の中央銀行が追加金融政策を打ち出したものの、原油安や米国リセッション懸念の高まりを背景に不安定な相場が続き、日経平均株価は1万6千円台まで下落しました。しかし、日銀が大規模な上場投資信託（ETF）の買入を行うと下げ止まり、さらに米国の大型経済政策の成立期待などから反発に転じました。その後も、欧米での新規感染者数の鈍化や、米連邦準備理事会（FRB）による迅速かつ大規模な金融支援策、国内での緊急事態宣言の解除などを好感して急速に値を戻しました。

期の後半は、新型コロナウイルスの感染第2波の懸念もあり、一進一退の動きが続いたあと、米株高や企業業績の底打ち期待などを受け、緩やかに上昇しました。安倍首相の辞任報道を受け急落する局面もありましたが、後任総裁が菅氏になるとの見方が広まると政策の継続性への安心感から反発しました。期末にかけては、欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大や米議会での追加経済対策協議の難航を嫌気して上値が重くなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄の異動は、ソフトバンクグループの関連会社であるSREホールディングスを新規に組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

○分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第15期
	2019年10月29日～ 2020年10月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,061

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資します。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書(目論見書)に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例(1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%)して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年10月29日～2020年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	137 (65) (65) (7)	0.921 (0.439) (0.439) (0.044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	11 (11)	0.075 (0.075)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.040 (0.040) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	154	1.036	
期中の平均基準価額は、14,828円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

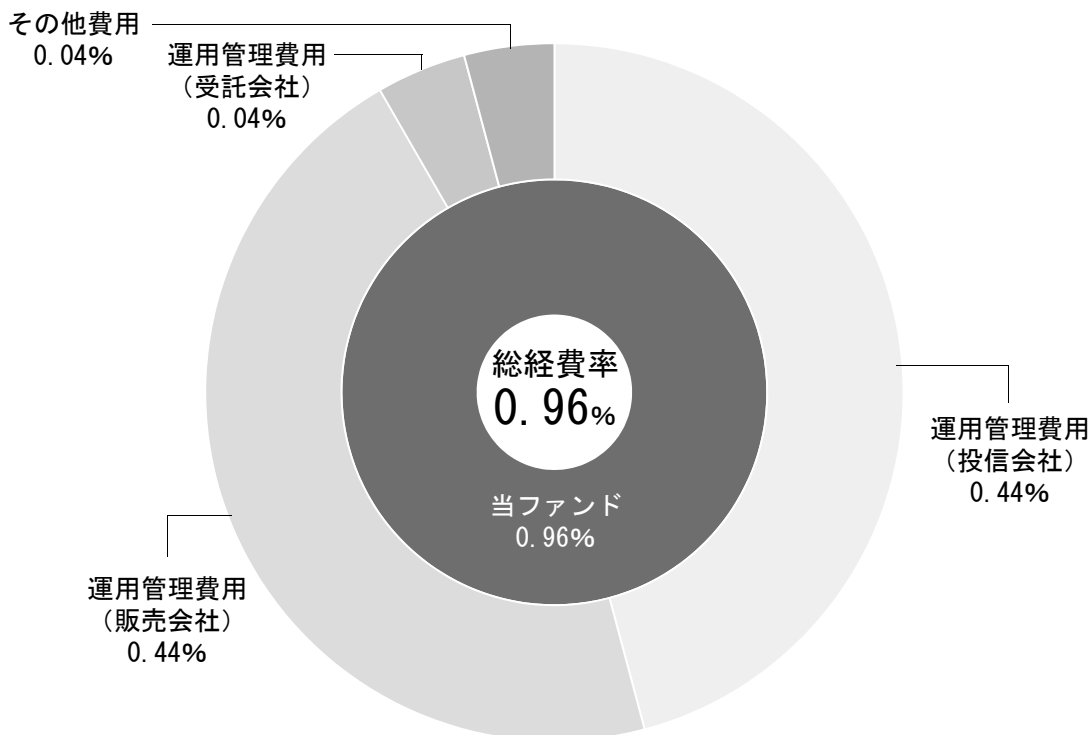
(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**0.96%**です。



(注1) 上記費用は、1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月29日～2020年10月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 130,644	千円 241,000	千口 460,361	千円 763,900

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2019年10月29日～2020年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,181,770千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,056,857千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.11

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月29日～2020年10月27日)

利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

利害関係人の発行する有価証券等

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当期末保有額
	百万円	百万円	百万円
株式	8	62	40

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモーニングスター、SBIホールディングス、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2020年10月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	834,906	505,189	1,038,770

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	1,038,770	98.1
コール・ローン等、その他	19,766	1.9
投資信託財産総額	1,058,536	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年10月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,058,536,052円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,765,575
ソフトバンク&SBIグループ株 式・マザーファンド(評価額)	1,038,770,477
(B) 負 債	15,865,481
未 払 解 約 金	11,165,872
未 払 信 託 報 酬	4,479,555
未 払 利 息	54
そ の 他 未 払 費 用	220,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,042,670,571
元 本	577,276,590
次 期 繰 越 損 益 金	465,393,981
(D) 受 益 権 総 口 数	577,276,590口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	18.062円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	942,918,231円
期中追加設定元本額	295,376,613円
期中一部解約元本額	661,018,254円

○損益の状況 (2019年10月29日～2020年10月27日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 取 益	△ 9,217円
支 払 利 息	△ 9,217
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	233,445,718
売 買 益	337,515,366
売 買 損	△ 104,069,648
(C) 信 託 報 酬 等	△ 10,466,249
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A + B + C)	222,970,252
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 18,520,676
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	260,944,405
(配 当 等 相 当 額)	(212,731,442)
(売 買 損 益 相 当 額)	(48,212,963)
(G) 計 (D + E + F)	465,393,981
(H) 取 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	465,393,981
追 加 信 託 差 損 益 金	260,944,405
(配 当 等 相 当 額)	(213,991,794)
(売 買 損 益 相 当 額)	(46,952,611)
分 配 準 備 積 立 金	204,449,576

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,836,470円)、費用控除後の有価証券等損益額(135,327,459円)、信託約款に規定する収益調整金(260,944,405円)および分配準備積立金(45,285,647円)より分配対象収益は465,393,981円(10,000口当たり8,061円)ですが、当期に分配した金額はありません。

第15期 運用報告書

(決算日 2020年10月27日)

ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド

受益者のみなさまへ

ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンドの第15期（2019年10月29日から2020年10月27日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	この投資信託は、わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク & SBIグループ株式」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
11期(2016年10月27日)	11,976	△ 10.0	98.4	1,012
12期(2017年10月27日)	16,929	41.4	95.5	1,345
13期(2018年10月29日)	14,208	△ 16.1	96.3	1,236
14期(2019年10月28日)	14,440	1.6	96.3	1,205
15期(2020年10月27日)	20,562	42.4	98.0	1,038

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2019年10月28日	14,440	—	96.3
10月末	14,739	2.1	97.7
11月末	15,186	5.2	98.5
12月末	16,273	12.7	98.5
2020年1月末	16,006	10.8	98.4
2月末	15,572	7.8	98.7
3月末	13,772	△ 4.6	97.5
4月末	15,914	10.2	96.4
5月末	16,210	12.3	95.6
6月末	17,808	23.3	98.4
7月末	19,472	34.8	98.6
8月末	20,588	42.6	99.2
9月末	19,935	38.1	95.4
(期末)			
2020年10月27日	20,562	42.4	98.0

(注1) 騰落率は期首比。

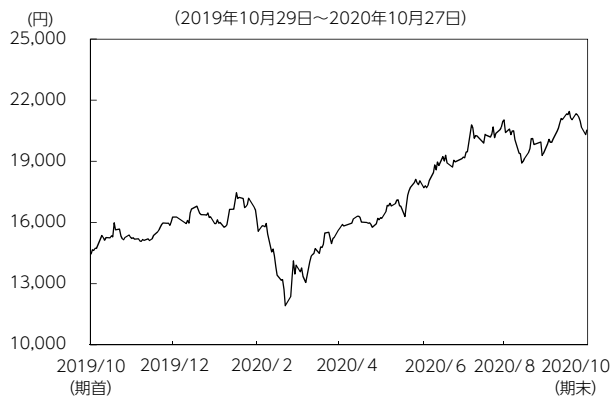
(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2019年10月29日から2020年10月27日まで）

○運用経過

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は、期首14,440円から始まったあと、期末には20,562円となりました。期を通じて騰落率は42.4%の上昇となりました。

	設定日	期中高値	期中安値	期末
日付	2019/10/28	2020/10/14	2020/3/19	2020/10/27
基準価額（円）	14,440	21,455	11,921	20,562

【組入上位10銘柄】

(2020年10月27日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	33.0%
2	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	32.0
3	Zホールディングス	情報・通信業	円	日本	20.5
4	ZOZO	小売業	円	日本	5.0
5	SBIホールディングス	証券、商品先物取引業	円	日本	3.7
6	アスクル	小売業	円	日本	1.4
7	パリュウコマース	サービス業	円	日本	0.7
8	SBテクノロジー	情報・通信業	円	日本	0.5
9	SREホールディングス	不動産業	円	日本	0.3
10	アイティメディア	サービス業	円	日本	0.3
組入銘柄数		17銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注3) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

○当ファンドのポートフォリオ

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄の異動は、ソフトバンクグループの関連会社であるSREホールディングスを新規に組み入れました。

○今後の運用方針

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2019年10月29日～2020年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 13 (13)	% 0.075 (0.075)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	13	0.075	
期中の平均基準価額は、16,789円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2019年10月29日～2020年10月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 259	千円 357,592	千株 770	千円 824,178

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2019年10月29日～2020年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,181,770千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,056,857千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.11

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月29日～2020年10月27日)

利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当期末保有額
	百万円	百万円	%
株式	8	62	40

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモーニングスター、SBIホールディングス、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2020年10月27日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評価額
	千株	千株	千円
情報・通信業(87.9%)			
イーブックイニシアティブジャパン	0.9	0.3	982
ブロードバンドセキュリティ	0.6	0.2	622
Zホールディングス	745.5	292.7	213,378
SBテクノロジー	3.5	1.4	4,949
ソフトバンク	262.2	280.8	342,576
ソフトバンクグループ	96	48.1	332,419
小売業(6.5%)			
ベクター	2.2	0.8	171
アスクル	8.5	3.4	14,076
ZOZO	—	18.9	52,088
証券、商品先物取引業(3.7%)			
SBIホールディングス	36.6	14.7	38,073
保険業(0.2%)			
SBIインシュアランスグループ	3.5	1.5	2,250

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評価額	
	千株	千株	千円	
不動産業(0.3%)				
SREホールディングス	—	0.9	3,082	
サービス業(1.4%)				
アイティメディア	3.2	1.2	2,890	
バリューコマース	5.3	2.1	7,255	
モーニングスター	13	5.4	2,516	
サイジニア	0.3	0.1	110	
ジーニー	2.8	1.1	961	
合 計	株 数・金 額	1,184	673	1,018,402
	銘柄数<比率>	15	17	<98.0%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2020年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 1,018,402	% 91.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	99,133	8.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,117,535	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年10月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1, 117, 535, 872円
コール・ローン等	16, 292, 241
株 式 (評 価 額)	1, 018, 402, 200
未 収 入 金	72, 293, 931
未 収 配 当 金	10, 547, 500
(B) 負 債	78, 757, 782
未 払 金	78, 757, 738
未 払 利 息	44
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1, 038, 778, 090
元 本	505, 189, 416
次 期 繰 越 損 益 金	533, 588, 674
(D) 受 益 権 総 口 数	505, 189, 416口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	20, 562円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	834, 906, 032円
期中追加設定元本額	130, 644, 614円
期中一部解約元本額	460, 361, 230円
期末における元本の内訳	
ソフトバンク & SBIグループ株式ファンド	505, 189, 416円

○損益の状況 (2019年10月29日～2020年10月27日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	31, 753, 809円
受 取 配 当 金	31, 768, 468
支 払 利 息	△ 14, 659
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	324, 306, 542
売 買 益	390, 611, 879
売 買 損	△ 66, 305, 337
(C) そ の 他 費 用	△ 1, 012
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	356, 059, 339
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	370, 712, 719
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	110, 355, 386
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 303, 538, 770
(H) 計 (D + E + F + G)	533, 588, 674
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	533, 588, 674

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。